



TITLE:

献辞 (豊崎 稔教授記念號)

AUTHOR(S):

堀江, 英一

CITATION:

堀江, 英一. 献辞 (豊崎 稔教授記念號). 經濟論叢 1964, 94(5)

ISSUE DATE:

1964-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/133032>

RIGHT:

經濟論叢

第九十四卷 第五號

豊崎 稔教授記念號

献 辞	堀 江 英 一	
帝国大学特別会計と演習林	島 恭 彦	1
独占資本家層再編の一紐帯	大 橋 隆 憲	20
レーニン『帝国主義』の 段階規定について	吉 村 達 次	37
添田プランと高橋意見書	小 野 一 郎	56
日本の合織産業における 若干の問題点について	中 村 忠 一	74
公共料金問題と独立採算制	寺 尾 晃 洋	91
現代交通政策の基本動向	中 西 健 一	112

豊崎 稔 教授略歴・著作目録

昭和三十九年十一月

京 都 大 学 經 濟 學 會

献 辞

豊崎 稔先生を大阪商工会議所からわが経済学部におむかえしたのは終戦直後の昭和二一年で、それから早くも一九六九年がすぎ去りました。わが学部は、この三月三十一日に御定年で、なごりおしくも先生をお送りしなければならぬことになりました。

先生をおむかえした昭和二一年は終戦直後の混乱期で、わが学部は「再建」というむづかしい仕事をなしとげなければなりませんでした。先生は、ほかの長老教授とともに「再建」の指導にあたられ、この困難な問題の解決にあたっていただきました。わが学部の今日の姿は多く先生に負っております。

先生はわが学部では経済政策講座を御担当になり、大きな学問的業績をあげられたばかりでなく、先生の幅ひろい御関心と御学殖は専門を異にするわたしたち後輩や学生をあたたく指導し鞭達するのに役立ちました。わたしたちは先生のあたたくい御指導と御鞭達にはげまされて今日にいたりしました。

わが学部から先生をお送りすることは、やむをえないことはいいいながらも、重大な損失と痛感しています。わたしたちは、ながきにわたる先生の御指導と御鞭達とに万腔の感謝の念をこめて、先生にこのささやかな記念号を、さげたいと思います。

先生には今後ともますますお元気に御研究の活動をおつづけ下さるよう心から祈りいたします。わたしたちはわが経済学部を発展させてゆくうえに誤らないことを先生に約束いたします。

昭和三九年一月

経済学部長

堀 江 英 一